地域公共交通確保維持改善事業（新モビリティサービス推進事業）・事業評価総括表

令和5年2月22日
北海道運輸局

評価対象事業名： 令和3年度　混雑情報提供システム導入支援事業

①補助事業者	②事業概要	補助事業者における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果	備考
		③事業実施の適切性		④目標・効果の達成状況		⑤事業の今後の改善点	評価結果	
北海道北見バス株式会社	（事業実施内容） ・バスロケーションシステムを活用したバス車内の混雑状況をリアルタイムでお客様が確認できるシステムを提供する （結果の概要） ・全路線にバスロケーションシステムを運用を開始し、一部路線に車内混雑状況の提供を開始した ・提供路線拡充に向け調整を続けている	B	導入機器の選定に時間を要したことから、発注が遅れたものの、システム構築や関係機関との調整は概ね計画のとおり進捗している。	B	混雑状況を把握するシステム不具合が多く、画面表示できない事もあったが、それに対する課題の整理が図られた。 導入1ヶ月間の1日平均アクセス数は372.8件と効果測定を行うための目標の300件はクリアすることができた、お客様への周知がまだまだ十分とは言えず、周知が進めばまだまだ改善の余地はあると考えている。	今後、様々な支援をいただきながら導入機器を増やし、より多くの路線を表示する事で改善していきたい。自治体や関係機関の協力を得ながら様々な媒体を使用し周知等に努めたい。	・予定した機器から変更があった点や、導入に若干の遅れがみられたが、事業は概ね計画どおり実施された。 ・システム不具合等があったものの課題は整理され、目標値も達成されていることから、改善を行っていくことで、引き続き利用者利便の向上が図られることを期待する。	